

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	作業支援・資源活用・都市連携による「資源人材循環モデル」の構築
対象地域	島根県浜田市弥栄自治区
活動概要	<p>弥栄自治区(旧弥栄村)は、27集落、637世帯、1,540人(平成19年4月1日現在)の過疎・中山間地域に位置し、平成17年に近隣4市町と合併して浜田市となった。地区内には、世帯数19戸以下・高齢化率50%以上の小規模・高齢化集落が8集落あり、これらを中心に、生活の質の低下、多様な人材・組織との関係の弱体化、農林地の放置、地域活動の衰退が生じている。その一方で、食料やエネルギーを生産する潜在力は高く、未利用資源を活用した資源供給と定住促進の余地が大いにある。</p> <p>平成19年度に弥栄自治区で実施した国土施策創発調査「維持・存続が危ぶまれる集落の新たな地域運営と資源活用に関する方策検討調査」では、地域マネージャーの投入と大学生の参入により、固定化された人や組織のネットワークを再構築する社会実験を行った。その結果、生活の質の改善、地域資源の活用と販路開拓、作業担い手の組織化・育成を実現する足がかりがつかめたところである。</p> <p>これらを受け、本事業では活動を自立可能なレベルに到達させることを目的とし、戦略的な取り組みを実施する。</p>
今年度の主な取組	<p>地域活動の推進、関係団体や人材との調整、都市部との関係構築を担う「地域マネージャー」を設置し、以下の取り組みにより「地域マネージャー」のしくみの有効性を検証する。</p> <p>①「地域マネージャー」が作業希望者や学生ボランティア等と調整し、高齢者世帯・独居世帯に対する除草や除雪等の作業支援を行う。</p> <p>②「地域マネージャー」が作業希望者や学生ボランティア等と調整し、耕作放棄地再生の活動を行う。</p> <p>③以上の活動の成果を踏まえ、「地域マネージャー」を中心とした地域経営の有効性を検証する。</p>
活動結果	<p>地域マネージャーの配置により、つなぎ役として機能し、地域と通常接点のない人との関わりを作った。これまでの地域振興の活動は横のつながりが無いため、まとまりのない活動が方々で展開されていたが、協働で実施するなどの変化がみられた。また、小規模、高齢者集落への積極的な対応は、作業支援以外でも集落訪問を通じて、ニーズの把握は勿論地域資源の掘り起こしにも効果を見いだせた。</p>

<p>当初予想していなかった効果</p>	<p>作業支援活動の実施に際して、シルバー人材センターとの連携が実現し、地域により密着した活動の展開が可能となった。また、作業支援の担い手となった学生の存在が、作業支援活動の受益者以外にも地域の住民の生き甲斐創出に貢献できたと思う。</p>
<p>実施状況(写真)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真】 大雪の日に集落を回る地域マネージャー          耕作放棄地でのサトイモの収穫</p>
<p>応募団体名</p>	<p>浜田市(代表団体)・弥栄らぼ・公立大学法人島根県立大学・島根県中山間地域研究センター・株式会社藤井基礎設計事務所地域戦略研究所</p>
<p>リンク</p>	<p><a href="http://yasakalabo.exblog.jp/">http://yasakalabo.exblog.jp/</a></p>
<p>部局／担当者名</p>	<p>浜田市弥栄支所総務課 佐々木栄治</p>
<p>連絡先</p>	<p>0855-48-2111</p>
<p>推薦市町村名</p>	<p>浜田市</p>